



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月1日  
上場取引所 東

上場会社名 イーグル工業株式会社  
 コード番号 6486 URL <https://www.ekkeagle.com/jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴 鉄二  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経財本部長 (氏名) 池田 澄男 TEL 03-3438-2291  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	111,861	8.5	8,936	12.4	10,978	27.5	8,551	64.0
29年3月期第3四半期	103,068	△3.3	7,949	△32.6	8,609	△37.1	5,215	△37.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 14,361百万円 (266.0%) 29年3月期第3四半期 3,924百万円 (△41.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	174.82	—
29年3月期第3四半期	106.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	170,308	86,207	46.5	1,617.14
29年3月期	160,658	74,484	42.2	1,387.72

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 79,210百万円 29年3月期 67,815百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
30年3月期	—	20.00	—		
30年3月期(予想)				25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	149,000	6.0	12,600	13.3	14,450	18.8	10,500	44.0	214.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	49,757,821株	29年3月期	49,757,821株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	775,668株	29年3月期	889,678株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	48,917,850株	29年3月期3Q	48,756,412株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 2 「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済情勢は、主要国においてはほぼ安定して推移しました。米国経済は、積極財政への期待から拡大基調が持続、欧州ではドイツを始め主要国で景気回復が鮮明になってきました。アジアでは、中国が構造調整を進めつつも安定的な成長を継続し、インド、東南アジア諸国にも景気持ち直しの兆しが見られました。一方で東アジア、中東の地政学リスクやEU内一部地域の独立を目指す動き等、不透明な要素も引き続き残る状況となりました。

日本経済においては、比較的落ち着いた為替環境のもと企業収益は改善、個人消費の伸びはまだ弱い状況ですが、景況感は徐々に回復しつつあります。

このような経済環境のもと当事業においては、自動車・建設機械業界向け事業は堅調に推移し、一般産業機械業界向け事業も需要が増加いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,118億61百万円（前年同期比8.5%増）、営業利益は89億36百万円（前年同期比12.4%増）、経常利益は109億78百万円（前年同期比27.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は85億51百万円（前年同期比64.0%増）となりました。

セグメント別の事業状況は次のとおりであります。

## [自動車・建設機械業界向け事業]

当事業は、自動車向け製品の販売が国内はもとより中国・欧州市場も引き続き堅調に推移するとともに、建設機械市場も好調であり、当セグメントの売上高は738億93百万円（前年同期比11.4%増）となりました。営業利益は53億36百万円（前年同期比2.5%減）となりました。

## [一般産業機械業界向け事業]

当事業は、国内半導体業界向け製品が引き続き好調であり、またインド・東南アジアなど海外での販売が堅調に推移したことから、当セグメントの売上高は261億15百万円（前年同期比12.7%増）、営業利益は30億44百万円（前年同期比33.8%増）となりました。

## [船用業界向け事業]

当事業は、新造船需要に底打ちの兆しがみられ、修繕需要は、まだら模様ながら欧州、東南アジア地域で回復がみられたことから、当セグメントの売上高は79億38百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益は5億8百万円（前年同期比604.6%増）となりました。

## [航空宇宙業界向け事業]

当事業は、前期に含めていた光工学業界向け事業の撤退に伴う販売減により、当セグメントの売上高は39億14百万円（前年同期比34.4%減）、営業利益は48百万円（前年同期比64.4%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## [資産]

当第3四半期連結会計期間末の資産は1,703億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ96億49百万円増加いたしました。これは主として有形固定資産が40億41百万円、現金及び預金が40億2百万円、商品及び製品が19億73百万円増加したことによるものであります。

## [負債]

当第3四半期連結会計期間末の負債は841億円となり、前連結会計年度末に比べ20億72百万円減少いたしました。これは主として短期借入金が増加した一方、電子記録債務が51億46百万円、賞与引当金が6億9百万円減少したことによるものであります。

## [純資産]

当第3四半期連結会計期間末の純資産は862億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ117億22百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金が63億42百万円、為替換算調整勘定が41億12百万円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年11月9日の「平成30年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,663	26,666
受取手形及び売掛金	28,815	27,867
電子記録債権	3,725	4,747
商品及び製品	5,124	7,098
仕掛品	7,092	8,257
原材料及び貯蔵品	5,584	5,836
その他	8,107	7,894
貸倒引当金	△90	△58
流動資産合計	81,024	88,310
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,971	21,225
機械装置及び運搬具（純額）	20,010	22,281
その他（純額）	13,019	13,535
有形固定資産合計	53,002	57,043
無形固定資産		
のれん	3,622	3,433
その他	3,525	3,273
無形固定資産合計	7,148	6,706
投資その他の資産		
投資有価証券	13,613	12,924
その他	6,142	5,458
貸倒引当金	△272	△135
投資その他の資産合計	19,483	18,247
固定資産合計	79,633	81,997
資産合計	160,658	170,308

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	8,022	8,062
電子記録債務	8,912	3,765
短期借入金	13,279	16,968
未払法人税等	2,185	2,279
賞与引当金	2,345	1,736
その他の引当金	51	141
その他	12,244	11,364
流動負債合計	47,042	44,318
固定負債		
長期借入金	21,544	22,375
引当金	421	312
退職給付に係る負債	15,997	15,792
その他	1,167	1,302
固定負債合計	39,131	39,782
負債合計	86,173	84,100
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,490	10,490
資本剰余金	11,395	11,395
利益剰余金	54,182	60,525
自己株式	△650	△427
株主資本合計	75,418	81,984
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	451	660
為替換算調整勘定	△2,871	1,241
退職給付に係る調整累計額	△5,183	△4,676
その他の包括利益累計額合計	△7,603	△2,773
非支配株主持分	6,669	6,996
純資産合計	74,484	86,207
負債純資産合計	160,658	170,308

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	103,068	111,861
売上原価	77,167	84,395
売上総利益	25,900	27,466
販売費及び一般管理費	17,951	18,529
営業利益	7,949	8,936
営業外収益		
受取利息	257	205
受取配当金	38	18
持分法による投資利益	503	514
為替差益	—	849
その他	686	886
営業外収益合計	1,486	2,474
営業外費用		
支払利息	340	301
寄付金	6	1
為替差損	348	—
その他	131	129
営業外費用合計	826	432
経常利益	8,609	10,978
特別利益		
固定資産売却益	45	16
投資有価証券売却益	22	61
関係会社株式売却益	—	2,222
特別利益合計	68	2,300
特別損失		
固定資産売却損	6	27
固定資産除却損	68	50
債務保証損失引当金繰入額	—	2
特別損失合計	75	80
税金等調整前四半期純利益	8,602	13,197
法人税等	2,812	3,807
四半期純利益	5,789	9,389
非支配株主に帰属する四半期純利益	574	838
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,215	8,551

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	5,789	9,389
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	86	208
為替換算調整勘定	△1,312	2,822
退職給付に係る調整額	511	482
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,151	1,457
その他の包括利益合計	△1,865	4,971
四半期包括利益	3,924	14,361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,343	13,381
非支配株主に係る四半期包括利益	580	980



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・建設機械業界向け事業	一般産業機械業界向け事業	舶用業界向け事業	航空宇宙・光工学業界向け事業	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高							
外部顧客への売上高	66,331	23,166	7,599	5,970	103,068	—	103,068
セグメント間の内部売上高又は振替高	108	65	11	—	184	△184	—
計	66,439	23,231	7,610	5,970	103,252	△184	103,068
セグメント利益	5,474	2,275	72	136	7,958	△8	7,949

(注) 1. セグメント利益の調整額△8百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・建設機械業界向け事業	一般産業機械業界向け事業	舶用業界向け事業	航空宇宙業界向け事業	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高							
外部顧客への売上高	73,893	26,115	7,938	3,914	111,861	—	111,861
セグメント間の内部売上高又は振替高	195	71	6	—	273	△273	—
計	74,089	26,186	7,945	3,914	112,135	△273	111,861
セグメント利益	5,336	3,044	508	48	8,938	△1	8,936

(注) 1. セグメント利益の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント名称の変更)

第1四半期連結会計期間より光工学業界向け事業から撤退したことに伴い、報告セグメントの名称を「航空宇宙・光工学業界向け事業」から「航空宇宙業界向け事業」へ変更しております。なお、当該変更によるセグメント情報に与える影響はありません。